

雇 用

1 求人・求職状況（2005年8月）

(1) 有効求人倍率

ア 0.78倍となり、前月と同水準であった。

イ 有効求人数：前月比1.9%増、有効求職：前月比1.8%増

※有効求人数、有効求職数及び有効求人倍率はいずれも季節調整値

ウ 地域別

(ア) 全国…0.97

(イ) 福岡…0.85、北九州…0.78、筑豊…0.54、筑後…0.59

(2) 新規求人数（原数値）

32,640人 前年同月比：18.6%増 3年2か月連続の増加

産業別の前年同月比較

増加産業：飲食店、宿泊業、建設業、情報通信業、製造業、運輸業、医療、福祉、卸売・小売業、サービス業、金融・保険業、不動産業

減少産業：その他サービス業

(3) 新規求職数（原数値）

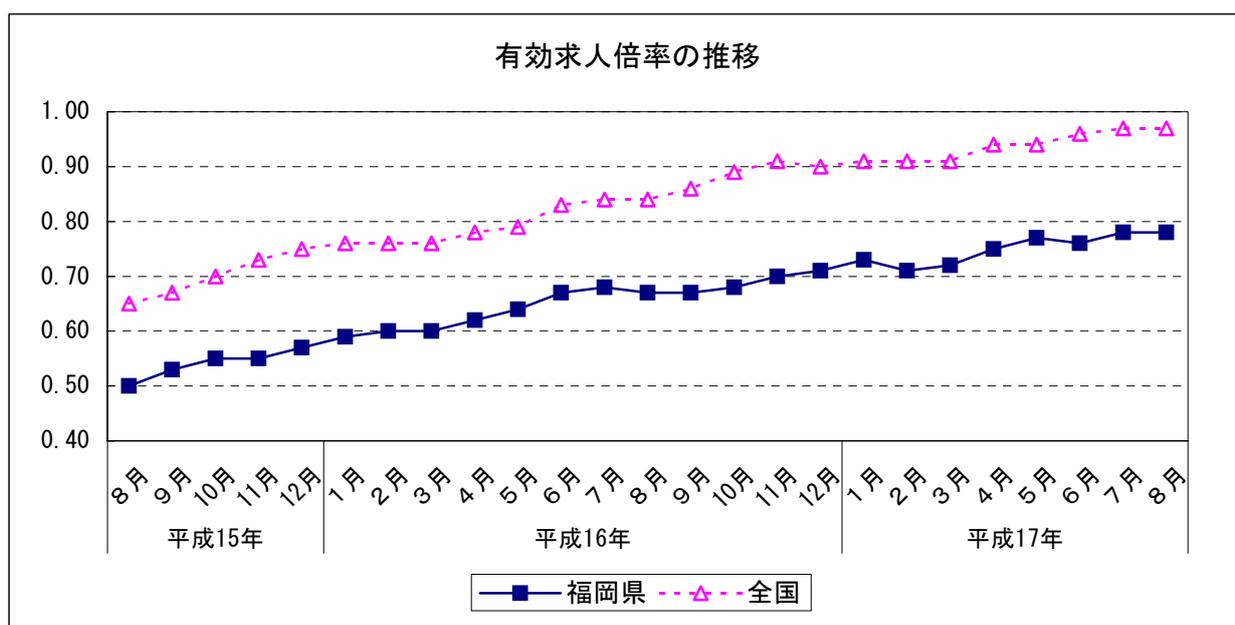
24,598人 前年同月比：▲0.5%減

| | | 有効求人倍率 | 前月差 | 前年同月差 |
|-----------------|-----|--------|-------|-------|
| 平成16年 (2004) | 8月 | 0.67 | ▲0.01 | 0.17 |
| | 9月 | 0.67 | 0.00 | 0.14 |
| | 10月 | 0.68 | 0.01 | 0.13 |
| | 11月 | 0.70 | 0.02 | 0.15 |
| | 12月 | 0.71 | 0.01 | 0.14 |
| 平成17年 (2005) | 1月 | 0.73 | 0.02 | 0.14 |
| | 2月 | 0.71 | ▲0.02 | 0.11 |
| | 3月 | 0.72 | 0.01 | 0.12 |
| | 4月 | 0.75 | 0.03 | 0.13 |
| | 5月 | 0.77 | 0.02 | 0.13 |
| | 6月 | 0.76 | ▲0.01 | 0.09 |
| | 7月 | 0.78 | 0.02 | 0.10 |
| | 8月 | 0.78 | 0.00 | 0.11 |

| | | 有効求人倍率 | 前期差 | 前年同期差 |
|-----------------|--------|--------|------|-------|
| 平成15年 (2003) | 7～9月 | 0.51 | 0.03 | 0.09 |
| | 10～12月 | 0.56 | 0.05 | 0.12 |
| 平成16年 (2004) | 1～3月 | 0.60 | 0.04 | 0.14 |
| | 4～6月 | 0.64 | 0.04 | 0.16 |
| | 7～9月 | 0.67 | 0.03 | 0.16 |
| 平成17年 (2005) | 10～12月 | 0.70 | 0.03 | 0.14 |
| | 1～3月 | 0.72 | 0.02 | 0.12 |
| | 4～6月 | 0.76 | 0.04 | 0.12 |

| | 有効求人倍率 | 前年差 |
|------------------|--------|------|
| 平成14年度(F.Y.2002) | 0.43 | 0.00 |
| 平成15年度(F.Y.2003) | 0.53 | 0.10 |
| 平成16年度(F.Y.2004) | 0.68 | 0.15 |

資料出所：厚生労働省福岡労働局「雇用失業情勢について」



雇 用

2 就業状態（2005年4-6月期）

(1) 就業者

2,417千人。前年同期比でみると6期連続の増加。
うち雇用者 2,066千人。前年同期比でみると9期連続の増加。

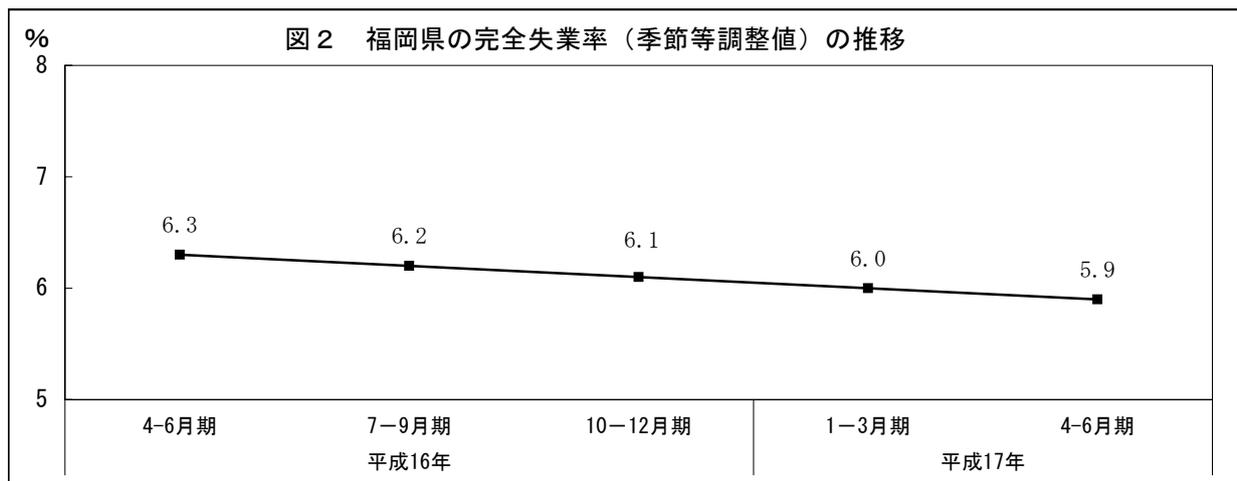
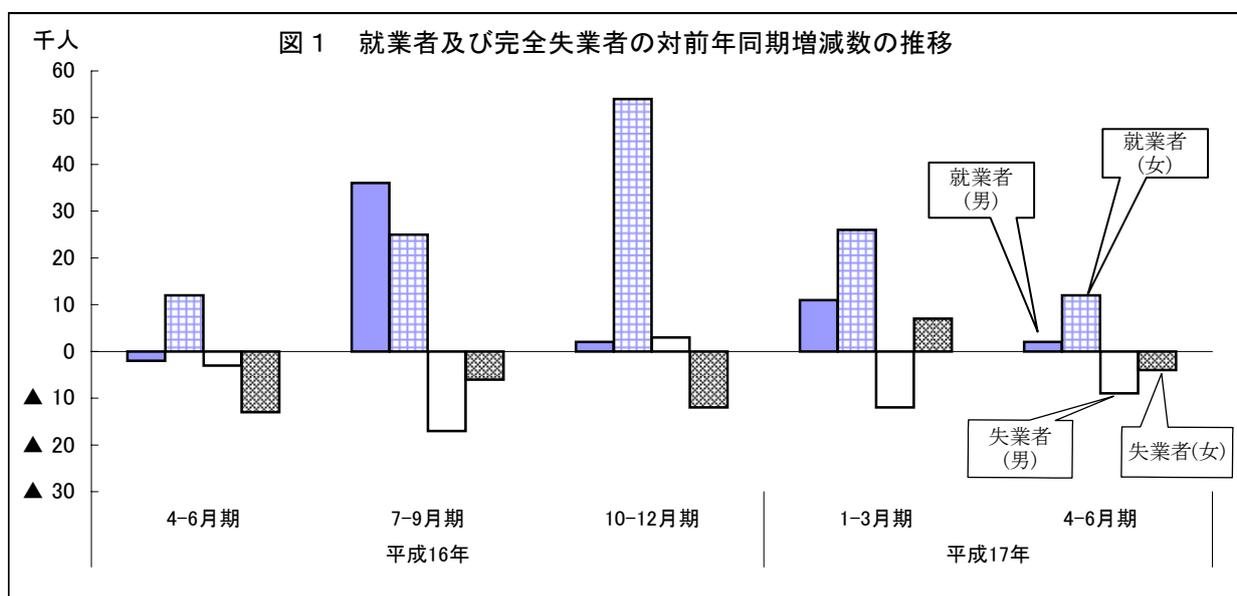
(2) 完全失業者

156千人。前年同期比でみると7期連続の減少。
うち若年層（15-34歳）の完全失業者は81千人。

(3) 完全失業率

5.9%（季節等調整値）。前期と比べ0.1ポイント低下。

* 完全失業率 = 「完全失業者」 ÷ （「就業者」 + 「完全失業者」） × 100



注1) 総務省が実施している「労働力調査」の福岡県分の集計を行い、県独自に公表している。

2) 福岡県では世帯総数の約1,300分の1に当たる約1,500世帯、15歳以上人口の約1,300分の1に当たる約3,200人を毎月調査している。

3) 季節等調整値は、今期の結果公表時に過去にさかのぼって結果を再計算している。

このため、平成17年1-3月期以前の季節等調整値は改訂されている。

4) 労働力調査結果表（福岡県 四半期推定値）は、福岡県（雇用関連参考資料）及び時系列データ「雇用」に掲載しています。